



藤岡市メディア調査報告

藤岡市教育委員会学校教育課 R7.2.4

この調査は毎年、12月に市内の全小中学生を対象にスマホやタブレット等の所持率や利用内容、また、家庭での学習時間や読書時間等についてアンケートをとり、その結果から児童生徒のメディアとのよりよいかかりについて考えていくために行っています。この資料をもとに、家庭でのメディア利用について親子で話題にしてほしいと思います。(詳しい調査結果は藤岡市教育委員会 HP で公開しています。)

◎ 知っていますか？わが子のスマホ・タブレットの使用時間、利用内容について

小学生の平日のスマホ、タブレット等の平均使用時間は、昨年度と比べ小学生は同様、中学生は9分長くなっており、過去5年間と比較しても年々増加傾向にあります。これに対して

平日スマホ・タブレット等平均使用時間	小学生 83分	中学生 141分
休日スマホ・タブレット等平均使用時間	小学生 116分	中学生 188分
平日平均学習時間	小学生 83分	中学生 108分
休日平均学習時間	小学生 66分	中学生 129分
平日平均読書時間	小学生 14分	中学生 11分
休日平均読書時間	小学生 16分	中学生 13分

平日平均学習時間は昨年度と比べ小学生は同様、中学生は4分短くなっています。

スマホ等の主な利用内容については左の表のようになっています。小学生で1位となっているSNS(Instagram、フェイスブック、ティックトック、X)については、海外では、「子どもがSNSの動画を見て自分の見た目に自信をなくし、拒食症になったニュースなどが相次いで伝えられ、規制を求める雰囲気が高まりました。SNSの利用が暴力や犯罪を引き起こしたり、学校の集団いじめの原因になったりする」との指摘も出ています。このことから各国では下の表のようにSNSを規制する動きも出ています。

	小学生	中学生
1	SNSをする	動画を見る
2	ゲームをする	ゲームをする
3	興味のあるサイトを見る	興味のあるサイトを見る



オーストラリア	16歳未満のSNS利用を禁止。運営会社は年齢確認をしなければならない。
フランス	15歳未満は保護者の同意なしでSNSを利用できない。
イギリス	SNSの運営会社は子どもの有害コンテンツへのアクセス防止策をつくらなければならない。
アメリカ	フロリダ州は動画を連続再生するSNSのアカウントを14歳未満がつくるのを禁止
日本	インターネットを利用する未成年者の保護を政府が検討

(「上毛新聞風っ子」R7.1.19より)

◎ 決めていますか？我が家のルール

スマホやタブレットを使用する時のルールを決めている家庭は小学生では69%、中学生では47%です。ルールを決める際、親が一方向的に押し付けるのではなく、子どもがルールを守る意識をもち、親子の共通理解のもとに決めることが大切です。子どもにルールを宣言してもらいましょう。また、教育委員会が推奨するソフトバンクの「スマホデビュー検定」を親子で受け、スマホ等と上手に付き合うための態度や考え方を身に付けましょう！

<ルール例>

- ① 使っている時間、使っている場所を決める。
- ② IDやパスワードは親だけに伝える。
- ③ 使うアプリを宣言する。
- ④ 勉強中や食事中は使わない。
- ⑤ 就寝時間の1時間前からは使わない。



◎ 寝る前の10分！読書のススメ

市内小中学校では、平日は朝読書等の時間を確保し、心の栄養と言われる読書に取り組んでいます。しかし、平日の平均読書時間は小14分、中11分という結果でした。藤岡市では毎週第4土曜を「家読の日」とし親子で本を読むことを推奨しています。これに加え、毎日、就寝前の10分間、寝る前に読書することをお勧めします。